

JCI 四国支部 10 周年記念誌編集委員会第 1 回会議 議事録

日時：2015 年 12 月 28 日（月）14:00～17:00

場所：香川県生コンクリート工業組合会議室

出席予定者：橋本親典，古田満広，横井克則，尾寄秀典，新居宏美

配布資料

1-0：議事次第

1-1：構成案（橋本）

1-2：四国コンクリート研究会から JCI 四国支部のこれまでの活動状況（橋本）

1-3：歴代役員および在任期間（古田）

1-4：活動記録（新居）

1-5：教育助成一覧表（古田）

1-6-1～1-6-3：教育助成関係の写真（尾寄）

1-7：四国生コンに関する現状調査報告（新居）

1-8：研究委員会一覧（古田）

1-9：参考資料 2005 年～2015 年までの講演会・講習会の活動記録一覧（古田）

記録者：橋本

橋本支部長から会議の前に簡単な趣旨説明がなされた。

議題

1. 各委員の提出資料の説明および記念誌の構成について

各委員の提出資料をもとに，原稿の順番および原稿に必要な写真の収集方法について議論した。
以下に議論した結果を簡単に記す。

A)部数について

- ・現在の四国支部の会員数 243 名に，役員会の JCI 非会員の委員，顧問，各支部や本部，四県の生コン工組，高専や高校への贈呈，事務保管を含み，350 部とする。

B)配布資料 1-1 の構成案の修正をした。

- ・(1)四国コンクリート研究会から JCI 四国支部のこれまでの活動状況は，研究委員会名簿のあとに移動する。
- ・四国支部規程は，来年度中に変更になるので掲載しない。
- ・編集後記は付けない。
- ・編集委員会名簿の尾寄先生の所属学校名を「工業→高校」に修正する。
- ・JCI のロゴは，本部から正式なものを入手する。
- ・総ページ数は，65 頁程度

C)各原稿について

- ・橋本支部長から各委員へ簡単な執筆要領を送付する。なお，「.」は「。」にする。
- ・10 年の活動記録
 - ・講演会で土木学会四国支部との共催のもの（2007 年度，2010 年度，2011 年度，2013 年度）は，橋本が探してみる。
 - ・2009 年度現場見学会の写真は差し替える。
 - ・2015 年は，11/4 日の現場見学会の写真までを入れる。
- ・コンクリート教育助成の記録
 - ・四国コンクリート研究会時代は入れない。また，2015 年度の松山聖陵高校は入れない。
 - ・尾寄委員から各高校の先生に代表的写真 3 枚程度集め，新居委員に提出する。

- ・天羽先生に関しては、天羽先生が総会で発表している写真のみとする。
- ・JCI2014（高松）の記録
 - ・横井委員の方で、行事ごとに写真のみを選択し掲載する。文章はタイトル程度にする。
 - ・詳細の説明は、JCIのHPのURLを掲載しておくだけにする。
- ・四国の生コンの現状調査報告
 - ・タイトルを修正する。
 - ・執筆者は、新居と古田の2人とし、橋本を削除する。
- ・研究委員会名簿
 - ・各研究委員会の「活動内容成果等」の項目は「活動目的」とし、「活動期間」と「委員構成」の間に記入する。各委員長への執筆のお願いはしない。
- ・四国コンクリート研究会からJCI四国支部のこれまでの活動状況
 - ・表4の年度の間違いを修正する。

2. 記念誌の構成について

1の議論の結果を受けて、修正した記念誌の構成を以下に記す。

表紙（新居）	1 頁
序（橋本）	1 頁
目次（古田）	1 頁
歴代役員および在任期間（古田）	1 頁
10年の活動記録（2005年度8月～2015年度11月）（新居）	22 頁
コンクリート教育助成の記録（尾寄）	3 頁
コンクリート甲子園の記録（尾寄）	3 頁
JCI2014(高松)の記録（横井）	4 頁
四国の生コンの現状調査報告（新居）	10 頁
ー2013年度の四国4県の生コン工場のアンケート結果よりー	
研究委員会名簿（古田）	13 頁
四国コンクリート研究会からJCI四国支部のこれまでの活動状況（橋本）	5 頁
裏表紙 編集委員会名簿（古田）	1 頁
合計	65 頁

3. 発刊までのスケジュールについて

- ・1/15日までに担当者は最終原稿を古田さんへ提出
- ・65頁、350部、カラー印刷で見積もりを業者に依頼＜事務局＞
- ・1/19日の拡大幹事会に、記念誌の原稿案と見積もりを提案し、承諾を得る。
- ・6/9日の拡大幹事会で記念誌発刊予算を30万円ということで了解を得ているが、これを大幅の超えた場合は、2/4日の役員会で承諾を得たのち、出版のための印刷を業者に発注する。＜もし、大幅に超えない場合は、役員会では報告のみとして、印刷を業者に発注する。＞

4. 次回の編集委員会開催について

1/19日の拡大幹事会において編集委員会で検討するような案件が発生した場合は、第2回編集委員会を開催する。開催日時は、メール審議で、全委員が出席可能な日を決定する。

以上